第134号　1909. 6. 13.

明治十一年二月二十日第三種郵便物認可　（月曜）　日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年六月十三日　（日曜日）　第百卅四號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城居留民團公文

京城居留民團告示第十號

明治四十二年度當民團特別會計漢城病院歳入出豫算左ノ通更正ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十二年六月十一日

京城居留民團民長　熊谷賴太郎

明治四十二年度京城居留民團特別會計漢城病院歳入出更正豫算表

歳入

經常部

第一款漢城病院收入

既定豫算額金五萬〇九百十六圓

更正豫算額金八千七百三十九圓

第一項藥價及材料收入

既定豫算額金二萬六千〇六十一圓

更正豫算額金千八百二十一圓

第二項診察及手數料

既定豫算額金四千六百五十五圓

更正豫算額金二百九十五圓

第三項入院及賄料收入

既定豫算額金一萬九千五百二十八圓

更正豫算額金八百十三圓

第四項雜收入

既定豫算額金六百七十二圓

更正豫算額金三百圓

第五項漢城病院收入

既定豫算額金五千五百圓

更正豫算額ナシ

計

既定豫算額金五万九千八百八十圓

更正豫算額金一万七千七百〇三圓

臨時部

第一款補給額

既定豫算額金二千圓

更正豫算額金四千七百五十圓

小計

既定豫算額金二千圓

更正豫算額金四千七百五十圓

合計

既定豫算額金六萬一千八百八十圓

更正豫算額金二萬二千四百五十三圓

歳出

經常部

第一款漢城病院費

既定豫算額金四万八千五百五十八圓

更正豫算額金一萬〇六百二十五圓

第一項俸給

既定豫算額金二万二百四圓

更正豫算額金二千七百五十五圓

第二項雜給

既定豫算額金六千三百圓

更正豫算額金六十百五十六圓

第三項需用費

既定豫算額金一萬九千〇七十二圓

更正豫算額金一千三百七十八圓

第四項修繕費

既定豫算額金六百四十六圓

更正豫算額ナシ

第五款雜支出

既定豫算額金百圓

更正豫算額金十圓

第六款臨費

既定豫算額金一千七百〇四圓

更正豫算額金三百圓

合計

既定豫算額金六萬一千八百八十圓

更正豫算額金二萬四百五十三圓

文苑

片々生

●凛たる精神

僕の愚意なるヨボ奇聞を發して曰く、日本人は吾儕輩人よりも豪いと云ふか一体何處が豪いか、成程國としては日本は韓國よりもズット富强である、然れども個人として何處が韓人に優るか、人は云ふ日本人が經濟思想が發達して居ると、夫れなら支那人は日本人よりも經濟思想が發達して居るそれで支那は國として日本に劣る、ドウモ此點が解らぬ、ドウ考へても矛盾して居るやふだ、然り表面觀察ではヨボの言ふ通り矛盾して居る「目に見へぬ凛たる精神」是が優る、天狗の鼻を打ち折る者がないと、何處へ御用ゐ下し置かれたく　伊「千萬辱けない然らば今日下城を致すと、臣下を以て申し受けるぞ　彦「ハア宜しうござる　伊「其時に鬼や斯う申すまいな　彦「武士に二言はござらぬ　伊「然らば確かに申受ける　彦「宜しうござる、併し御容物は御持參を願ひたい伊何う云ふ容物が宜しいかな　彦「英雄の生膽を容れるのであるから、銀の壺ぐらゐを御持ちを願ひたい、些と大振が宜しい、斯く申すと大言のやうではござるが、千軍万馬の中を往來いたし、東照大神宮に、御供を

●觀劇趣味の墮落

近頃京城には觀劇上に於て妙な傾向がある夫れは安くすれば客があるが、少し高いと客がない、所謂劇の巧拙は問ふ所に非ずと云ふ儀な傾向がある、是は喜ぶべきことであるや否は知らぬ、一面より觀察すれは不景氣だからとも見へる、亦一面に於ては觀劇趣味の墮落とも見へる、要するに劇の巧拙が能く判らぬより來る結果ではあるまいか、若し圓十菊五を地下より起し來るとも高くては五日以上の大入は六ツ敷からふと思ふ。

夏雲生

●百人一首讀替（十二）

まゝこ女史投

●三條院

ながらへて幸なき浮世いまぞ去る
今宵の月ゆゑなこりならけり

●能因法師

かせに散る紅葉をながす谷川の
錦をあさるさとの乙女子

●良遍法師

たへやらぬ淋しきまに出たてば
秋れとづる〻雁のこゑのみ

●大納言經信

みのりして稻田安きは風そゝぬ
明日かゝいる〻あしの庵へ

●祐子内親王家紀伊

仇ひと〻しらで契りし恨しさは
しのぶ恨みの絕るまもなし

●權中納言匡房

咲そめぬ山ふところのさくら花
とざさは見へぬ春霞かな

佐倉宗吾

（百五）

眞龍齋貞水講演

此松平伊豆守は、智慧伊豆と申し上げた御方でございまして、此御人を大老が此度御取調役に御撰みになりましたのは、深き仔細のある事でございます、伊豆守は二代將軍から四代將軍に跨つて仕へた人で、幼名を松平長次郎と謂はれ、後ち松平右衛門大夫樣御養子となり、そこで松平伊豆守信綱と謂はれました、此御人は、初めて御藏二十六歳で御老中に御進みになりましたが、何うも御評判が好い、博學にして才智がありました、所が如何に偉い人でも、何うも若と成つて、天下國家のため　御忠勤を願ひ盛りの時は、隨分御慢心と云ふ事はなきにたい、又この親類、人を馬鹿にする　伊「ホー、然らば彦左、予に確かに膽をくれるか　彦「ヘー、それは確かに進上いたす、最早年齢を老し、何の御役も勤らず、故に敵腹を切つて、生膽を差上げますれば、宜しう御用ゐ下し置かれたく　伊「千萬辱けない然らば今日下城を致すと、臣下を以て申し受けるぞ　彦「ハア宜しうござる　伊「其時に鬼や斯う申すまいな　彦「武士に二言はござらぬ　伊「然らば確かに申受ける　彦「宜しうござる、併し御容物は御持參を願ひたい伊何う云ふ容物が宜しいかな　彦「英雄の生膽を容れるのであるから、銀の壺ぐらゐを御持ちを願ひたい、些と大振が宜しい、斯く申すと大言のやうではござるが、千軍万馬の中を往來いたし、東照大神宮に、御供を

天狗で居ちやつしやる、すると大久保彦左衛門が、當時飛ぶ鳥も落ちんとする御老中の勢ひある腹を切つて、生膽を差上げますれば、宜しう御用ゐ下し置かれたく　伊「千萬辱けない然らば今日下城を致すと、臣下を以て申し受けるぞ　彦「ハア宜しうござる　伊「其時に鬼や斯う申すまいな　彦「武士に二言はござらぬ　伊「然らば確かに申受ける　彦「宜しうござる、併し御容物は御持參を願ひたい伊何う云ふ容物が宜しいかな　彦「英雄の生膽を容れるのであるから、銀の壺ぐらゐを御持ちを願ひたい、些と大振が宜しい、斯く申すと大言のやうではござるが、千軍万馬の中を往來いたし、東照大神宮に、御供を

釜山新聞

寄書

韓國中央銀行論（九）　生

第一銀行より紙幣發行權を引上ぐる場合に於ける**報償條件**如何（四）の中六號第一銀行が紙幣發行に伴ひ**實行**若くは**計畫**せる**設備**の整理方法第一銀行が紙幣發行の公認を得て中央銀行たるの義務を負擔したる結果已に實行し、若くは將來實行すべき計畫を以て諸般の設備を爲したるは一般の認識する所なり其重もなるものを摘示すれば

一、事務員の**增數**
二、支店出張所の**增設**
三、營業用地建物の**增加**

等なり而して此等諸種の設備中特權の解除と同時に**不用**に屬すべきもの亦實に少なからざるべし

先づ事務員に就て考ふるに目今京城總支店に於ける國庫、發行、調査三部の總員**百五十人**餘の中約其三分の二は特權解除と共に不用と爲り**解雇**の止むなきを見るべく其他の支店出張員にありても少なくも二三名宛の解雇を見るべし

次に支店出張所に就ては各店孰れも其規模を縮少するを要し又全然閉鎖して可なるものもあるべし現在の支店出張所は十四箇所なるが余輩の見るところに依れば其内一、全然存置の要なきものは**咸興**の二出張所

二、大に規模の縮少を要するものは**京城、平壤、元山、仁川**の四支店

ならん就中京城支店は業務の大半を失ふべきが故に事務の大減少と共に其規模を現在の半分に縮少して可なるべし營業用地所建物の膨脹に至りては近年實に驚くべきものあり韓國すべて店出張所總体を合算せば其價格**八十萬圓**に上るべし此は紙幣の公認に伴ひ業務の膨脹に連れて盛んに營業所の改造新築を行ひたる結果にして一朝紙幣發行の特權を失ひて普通銀行の地位に立戻る場合には夫々縮少削減を斷行して其整理を遂げざるべからず殊に目下京城南大門通りに**百萬圓**の豫算を以て築造中なる新營業所の如きは全く無用の物と化し去るべし第一銀行の境遇も此に至つて氣の毒の感なくんばあらず

如上各般設備の整理方法に關しては第一銀行當局に於て自ら成算之あるべきも適當の程度に於て之を新設の**中央銀行**に引受けしめ以て整理を了するが相互の便益ならんか

東京電報

▲答禮大使出迎

清國答禮大使出迎の爲め淀、淺間の二軍艦神戸に向ひたり

▲貯金の現在高

郵便貯金五月末の現在は一億一千万圓にして前月に比し四百万圓增加せり（以上十二日發）

外報一束

●露國の排英論　今日迄波斯に關する英露協約の强き味方たりしノウオエウレミヤは露國外交社會は外相イズウオルスキーが英國に籠絡せられつゝあるを非難し今や露國も獨逸と同樣に面倒にして且危險なる拘束を排斥すべき時期至れりと唱ふる排英派より出でたる論文を掲載せりと

●佛國製艦可決　十年間に新艦建造費三十億法を支出せんとする佛國海軍法案は可決せられたり

●英國海軍演習　不日擧行せらるべき英國海軍大演習は七万噸の石炭を搭載すべき四十隻の石炭運送船を要し其演習區域は英國海峽より北海に至る間なりと

雜報

●曾禰子の方針

韓國に於ける統監政治に於て比較的實行の遲々たるは地方行政なる具体的に云へば京釜、京義鐵道沿道の主要地には多少實行せざるにあらざるも深く内地に入る時は地方行政なるもの未だ端緒に着かず郡守專制と云ふ現狀なるを以て曾禰子統監こ陞任せば此の方面に行政の實行を期せん方針なり但之を實行する爲には現行の制度に改廢を加ふる結果を生ずべしと大阪朝日は報せり

●道書記官と附加稅

地方開發の爲新事業を企圖すべき事少なからず各道は風に經費の不足を感じつゝあり此際結稅其他の國稅と共に附加稅を徵收して地方事業費に充てんと欲し各道書記官は異口同音に贊同してこれが承認を要めんと期し居れるも國稅の徵收さへ道によりて民力に伴はざれば附加稅の賦收は如何ならんかと懸念せし度支部に於ては容易にこれを許容せざるが道書記官は地方の啓蒙已是非共必要なればとて極力これが成効を期し居れば度支部に於ても各方面の會議を終る迄篤と熟議する處あるべし

●日韓徵稅費

比較我日本に於ける徵稅費は改稅額に對し約百分の二半位なるが韓國に於ける徵稅費は殆んど我三倍に相當し百圓の徵稅を爲すに八圓弱を要し居る由

●事務成蹟の調査

韓國各農工銀行今季の營業成績こ前年同期に比し甚だしく不良にて今月末の決算には以下各大臣の警衛費は一個年九萬六千圓にくべき將来は約十七八万ある由

●各大臣の警衛費

韓國の各大臣は警衛の過ぎたるを引連れ居ること何人も知る如くなるが之に對して總理圓以下三十圓以上の標準にて金鵄勳章を受して何れも護衛金より支出するものなりと

●郡守の缺員こ任命

郡守の缺員は目下全國を通じ約二十あるを以て内部は各觀察使より推薦に係る地方官工部大臣室に開會せしが菊池水官代理各局長課長列席の上宮家山林局技師、唐原農商工部所管）

●廣梁灣の鹽田工事

廣梁灣の鹽田工事に就ては曩きに屢々報道せし如くなるが愈々先月二十九日より着手し支那苦力五百名を以て目下盛んに工事中の由にて本年度の費額は二十三萬圓を支出の筈なりと因みに配す朱安に於ける鹽田工事は本月中に全部竣成すべしといふ

●駐韓軍論功行賞

既報の如く韓國暴徒討伐に從事したる討伐軍の論功行賞は愈々近日中に發表せらるゝ由なるが今回發表の分は一昨夏以來昨年十月迄の期間に於ける行賞にして將官は八百圓より千五百圓迄大佐以下將卒は八百圓以下三十圓以上の標準にて金鵄勳章を受くべき將卒は約十七八人ある由

●道書記官會議（農商工部所管）

道書記官會議は前日に引續き十二日も農商工部大臣室に開會せしが菊池水官代理各局長課長列席の上宮家山林局技師、唐原農商工部技監の中特權の解除

●李容九の歡迎會

李容九は十二日北鄕三清洞或恩亭に於て李容九氏の歡迎會を開く由

●暴徒巨魁の逮捕

十日夜光州警察署に於て暴徒の首魁金玄黑及其部下五名を逮捕したりといふ

●農銀の營業成績

韓國農工銀行今季の營業成績こ前年同期に比し甚だしく不良にて今月末の決算には以下各大臣の警衛費は一個年九萬六千圓にくべき將来は約十七八人ある由

●廣梁灣の鹽田工事

廣梁灣の鹽田工事に就ては曩きに屢々報道せし如くなるが愈々先月二十九日より着手し支那苦力五百名を以て目下盛んに工事中の由にて本年度の費額は二十三萬圓を支出の筈なりと因みに配す朱安に於ける鹽田工事は本月中に全部竣成すべしといふ

●駐韓軍論功行賞

既報の如く韓國暴徒討伐に從事したる討伐軍の論功行賞は愈々近日中に發表せらるゝ由なるが今回發表の分は一昨夏以來昨年十月迄の期間に於ける行賞にして將官は八百圓より千五百圓迄大佐以下將卒は八百圓以下三十圓以上の標準にて金鵄勳章を受くべき將卒は約十七八人ある由

●道書記官會議（農商工部所管）

道書記官會議は前日に引續き十二日も農商工部大臣室に開會せしが菊池水官代理各局長課長列席の上宮家山林局技師、唐原農商工部技監の中特權の解除

東京電報

▲答禮大使出迎

清國答禮大使出迎の爲め淀、淺間の二軍艦神戸に向ひたり

▲貯金の現在高

郵便貯金五月末の現在は一億一千万圓にして前月に比し四百万圓增加せり（以上十二日發）

外報一束

●露國の排英論　今日迄波斯に關する英露協約の强き味方たりしノウオエウレミヤは露國外交社會は外相イズウオルスキーが英國に籠絡せられつゝあるを非難し今や露國も獨逸と同樣に面倒にして且危險なる拘束を排斥すべき時期至れりと唱ふる排英派より出でたる論文を掲載せりと

●佛國製艦可決　十年間に新艦建造費三十億法を支出せんとする佛國海軍法案は可決せられたり

●英國海軍演習　不日擧行せらるべき英國海軍大演習は七万噸の石炭を搭載すべき四十隻の石炭運送船を要し其演習區域は英國海峽より北海に至る間なりと

雜報

●曾禰子の方針

韓國に於ける統監政治に於て比較的實行の遲々たるは地方行政なる具体的に云へば京釜、京義鐵道沿道の主要地には多少實行せざるにあらざるも深く内地に入る時は地方行政なるもの未だ端緒に着かず郡守專制と云ふ現狀なるを以て曾禰子統監こ陞任せば此の方面に行政の實行を期せん方針なり但之を實行する爲には現行の制度に改廢を加ふる結果を生ずべしと大阪朝日は報せり

●道書記官と附加稅

地方開發の爲新事業を企圖すべき事少なからず各道は風に經費の不足を感じつゝあり此際結稅其他の國稅と共に附加稅を徵收して地方事業費に充てんと欲し各道書記官は異口同音に贊同してこれが承認を要めんと期し居れるも國稅の徵收さへ道によりて民力に伴はざれば附加稅の賦收は如何ならんかと懸念せし度支部に於ては容易にこれを許容せざるが道書記官は地方の啓蒙已是非共必要なればとて極力これが成効を期し居れば度支部に於ても各方面の會議を終る迄篤と熟議する處あるべし

●日韓徵稅費

比較我日本に於ける徵稅費は改稅額に對し約百分の二半位なるが韓國に於ける徵稅費は殆んど我三倍に相當し百圓の徵稅を爲すに八圓弱を要し居る由

●事務成蹟の調査

韓國各農工銀行今季の營業成績こ前年同期に比し甚だしく不良にて今月末の決算には以下各大臣の警衛費は一個年九萬六千圓にくべき將来は約十七八人ある由

●各大臣の警衛費

韓國の各大臣は警衛の過ぎたるを引連れ居ること何人も知る如くなるが之に對して總理圓以下三十圓以上の標準にて金鵄勳章を受して何れも護衛金より支出するものなりと

●郡守の缺員こ任命

郡守の缺員は目下全國を通じ約二十あるを以て内部は各觀察使より推薦に係る地方官工部大臣室に開會せしが菊池水官代理各局長課長列席の上宮家山林局技師、唐原農商工部所管）

●廣梁灣の鹽田工事

廣梁灣の鹽田工事に就ては曩きに屢々報道せし如くなるが愈々先月二十九日より着手し支那苦力五百名を以て目下盛んに工事中の由にて本年度の費額は二十三萬圓を支出の筈なりと因みに配す朱安に於ける鹽田工事は本月中に全部竣成すべしといふ

●駐韓軍論功行賞

既報の如く韓國暴徒討伐に從事したる討伐軍の論功行賞は愈々近日中に發表せらるゝ由なるが今回發表の分は一昨夏以來昨年十月迄の期間に於ける行賞にして將官は八百圓より千五百圓迄大佐以下將卒は八百圓以下三十圓以上の標準にて金鵄勳章を受くべき將卒は約十七八人ある由

●道書記官會議（農商工部所管）

道書記官會議は前日に引續き十二日も農商工部大臣室に開會せしが菊池水官代理各局長課長列席の上宮家山林局技師、唐原農商工部技監の中特權の解除

京城漫畫（其九）　社内某生

●東拓株券交付數

東拓株券の交付を開始したる以來十一日迄の交付數は十七萬三千株に達したりと

●漁業出願の增加

免許漁業の出願件數著しく增加し十一日現在にて千百六十四件の多數に達したりと

●京城銀行集會所

中央銀行問題京城銀行集會所は一昨十一日午后六時より其例會を京城ホテルに開催す出席者は日韓銀行業者三十余名にして始めに晩餐を共にし後當夜の議題たる手形交換所設置の件に關し討議を盡し正式の會合を了ったり夫より一同は單に銀行業者として峯岸京城團東規則を發布する由なるが高犬は一見野犬と異なるやう飼主の姓名を革又は金の頸輪を付け盛くか或は鑑札を頸部に懸附すと

●狂犬病と畜犬規則

近時狂犬病の發生甚だしく之れが被害も亦少からざるに依り今般警視廳令を以て畜犬

●軍司令官と道書記官

大久保軍司令官は目下入京中の各道書記官一同を招待し地方の狀況及軍隊の行動等に關し意見を聽取すべき由は既報の如くなるが愈々十四日朝鮮ホテルに於て一同を招待す

●地方辨護士の登錄

京城の辨護士は過般來れ〳〵登錄濟となりたるが地方より登錄せるもの左の如し

鎭南浦有本源次郎、元山禮柴田良之助、大邱下山清一郎、同林清作、釜山秀島浩

●韓國鑛業現況

韓國鑛業法實施以來客月末日迄に許可した鑛業權及砂鑛採取權は合計四百二十九件にして其内譯は左の如し

金鑛六七、銀鑛八、銅鑛三二、鉛鑛二、銅鑛四、金銀銅一〇、水銀鑛二、亞鉛鑛二、金銀銅鉛一、鐵鑛三九、銅亞鉛二、墨鉛六、石炭二七、石油五、金銀鑛二五、金銀銅鉛一、金銀亞鉛五、金銀銅鉛三、銅鐵亞鉛二、銀銅鑛一、金銅鉛一、金銅鑛五、銀銅鉛、九、銀銅鑛六、銀銅銅亞鉛鑛、銀鉛鑛三、鑛滿鑛一、銅鉛鑛二、砂鐵一〇九、金銀銅亞鉛鑛一、各種礦物五、砂鐵一〇九

因に此が道別を記すれば京畿三十二、忠淸六十九、全羅十二、慶尙百十一、江原二十、黃海二十六、平安百二十三、咸鏡二十七、合計四百二十九件なり

●在韓赤十字員の光榮

我が至仁至慈なる皇后陛下には去る四日東京日比谷公園に挙行せる赤十字社第十七回總會に行啓遊ばされたるが其際陛下の御合宴中客歲は韓國に於て社員總會を開きたる趣追々斯業の發展するは偏足の至りなりとの御沙汰ありたるが在韓日韓社員は無上の光榮を荷ひたるものといふべく自今愈心協力社業の發展に努め以て愛濃なる聖恩の万分一をも報ひ奉らむとを期せざる可らず

●生徒の同盟休校

京城市内李風來氏の經營せる私立鳳鳴學校にては過日曩問題、光團の入京に際し他の諸學校と共に停車場に赴き歡迎せんとするに高等部の生徒一同は何時の間にか姿を隱したるより教師は何故歡迎に赴かざるやを詰問したるに生徒等は汝等の如き不甲斐なき教師の教授を受けずと憤激し直ちに同盟休校せしが目下校長及生徒間に交渉中

●京城辯護士會則制定

京城に於ける辯護士は目下約二十餘名の多數に上りたれば理事職にありてもかねてよりこれが取締上の必要あり過般三浦理事官は市内辯護士を招き協議する處ありしが其結果京城辯護士會組織せられ同時に會則を制定し廿六條の本則と附則三ヶ條よりなる草案は十一日理事職を經統監府に申請すと

●新貨散布の狀況

新補助貨は銅白銅貨の回收及業績整理の進行に伴ひ當局者も極力之れが普及に努め各銀行及金融組合に無利子を以て之が散布資金を交付し又信用ある商人又は會社にして米穀買出の爲め新貨を使用する者には低利を以て之を融通せしむる等新貨散布に努め居れるも商白銅貨及業績回收額の割合に其流通額を增加せず從つて散布すれば從つて收し市場に滯留せず現に新補助貨の流通額は四百廿六萬八千金圓に過ぎざる由

●露國東洋學生渡日

在浦鹽露國東洋學生ウフチキ、ホスデエス、サデブへの三名は過般入京九州旅館に投宿し目今京城ホテルに開催す出席者は日韓銀行業者三十余名にして始めに晩餐を共に

●張宗會の設立計畫

李容植は儒教振興の目的にて張宗會と稱するものを設立せんとて目下之れが企畫中なりと

●載寧鐵產額

載寧郡寧鐵山昨年度の產出額は前載寧にて三万三千八百七十噸價格十一萬六千七百六十三圓、殷栗及長淺は一萬七千三百三十五噸價額十一萬七千八百七十八圓なりしなるが今年度は枝光鑛業所と六萬噸の賣込契約を爲したる由因に現今日本の每年鑛需用額は二十三万噸にして内十万噸は清國大冶鐵山より買入れ次は前記の個所より六萬噸及び韓國安岳產の三萬噸を買入れ他は日本產なりと

六月八日附を以て韓皇室より左の武官に對し叙勳の沙汰ありたり

第一艦隊司令長官
海軍中將男爵勳一等　伊集院五郎
第二艦隊司令長官
海軍中將男爵勳一等　出羽重遠
第一艦隊司令官海軍中將
特叙勳一等賜八卦章　山田彥八
特叙勳一等賜八卦章　香川宮太郎
陸軍少將　陸軍少將　恒吉忠道
香取艦長海軍大佐勳三等　大城源三郎
特賜大極章
菊池主殿
陸軍步兵大佐　生田目新
第六師團參謀長陸軍步兵大佐
筑波艦長海軍大佐　佐藤愛藏
敷島艦長海軍大佐　廣瀨勝比古
生駒艦長海軍大佐　黑井悌二郎
日進艦長海軍大佐　江口麟六
春日艦長海軍大佐　山田猶之助
竹下勇
・第二艦隊參謀長海軍大佐
香椎艦長海軍大佐　松村龍雄
秋津洲艦長海軍大佐　久保田彥七
八重山艦長海軍大佐　中野直枝
第十一驅逐隊司令海軍中佐　堀內機三郎
特叙勳一等賜八卦章
陸軍憲兵中佐　山形開
第十四十五艇隊司令海軍中佐　有馬純位
特叙勳三等賜大極章
陸軍憲兵少佐　藥師川常義
同　第十二艇隊司令海軍少佐　本園春明
特叙勳三等賜八卦章　庄野義雄
陸軍憲兵大尉　神田長平
同　小澤壽
同　岡村末吉
同　西原短蓋十時
同　歩兵大尉　惟孝
軍司令官副官歩兵大尉
陸軍歩兵中尉　二見源次郎
同　河南直
特叙勳四等賜八卦章
陸軍歩兵中尉
同
特叙勳五等賜大極章

本日の集會

▲京城基督教會　日の出町の同教會にては、午前九時より日曜學校同十時より禮拜式、午後八時より傳道說教あり尙は午前の分は同牧師の「家庭の宗教」なり

▲京城日本基督教會　旭町四丁目の同教會にては午前八時半より日曜學校同十時より禮拜說教午後八時より傳道說教あり

▲メソヂスト教會　旭町三丁目の同教會にては午前九時より日曜學校終つて木原牧師の禮拜說教夜は傳道說教あり

公人私人

▲藤掛貞（釜山金融組合理事十一日歸釜）
▲飯東安一（共同運船重役）同日安東縣へ
▲田上繼雄（憲兵隊附中尉）同日入京浦尾
▲南角斌（京城區裁判所書記）同日入京浦尾
▲山口叶（農商工部囑託）十二日大邱へ赴任

近一事片々

▲曾禰子曰く統監更迭の延引とは何の事だか判らぬ未だ伊公は辭表さへ出さずと云々

▲我輩にも未だ御內命なし親任式があつて始て判ると云ふ其言葉はたつなる

▲國民新聞の東京便りには暴表延引は伊公在任中に或附帶條件を片付ける爲也とある

▲曾禰子統監として來任の上は第一番に地方政治の改善に手を下さんと是れ好當區

▲地方政治の改善には勢ひ中央機關に改善を加るの要あらんと然り是至當の順序

▲果して曾禰子自身にして從に暴眼すれば聊か京城の春の晴めより早れつゝ

▲近頃の如く地方官庚の會同嚴密にして大臣次官局長の訓示續發に始て也と

▲趙農相の如き李學相の如き任度相の如き皆堂々と訓示演說をなす天晴れの次第也

▲李容九諸氏來何事をなせるか一進會員は彼の歡迎會を催せりと茲暫く一進會も靜觀

▲一進會顧問內良曰く一進會と曾禰子との間は圓滿ならむ世評の如くならずと嘯く

▲綾綾若し困難ならば一電の下に宋と機は沒薄すべしと例に依り蓋綾振て驅西なし

▲此頃韓人間に李容九洪肯燮等入閣すべしと噂す是容九自身より出たる法螺でないか

▲根澤風來允植等の一派頗に對新統監を請じつゝありと重顧夏癸等も亦奔走すと

▲新領土樺太は今何ほ贈品官憲の橫暴甚しと何處も同じ官憲の跋扈には其に閉口す

▲木內務次官歡迎席上漁民の多數が平岡長官に對する不平を鳴らす爲に官憲林部

▲前田事務官無腐の漁民に向て警官憲兵に拔劍發砲以て威壓せしめたりと紀事極る

▲平岡長官により改善せられしと思ひし樺太は今尙暗黑見角殖民地官庚は腐れ易し

▲財政難は何處も同じ佛國此病に罹る英佛獨の富强國にて然り況や日本に於てをや

▲軍艦競爭の絕へざる限り此病は癒へず然れども物窮れば通ず列國早晚非を悟らむ

▲昨日の本紙三面にある司法官の面汚しは其に因つた奴隸る法官あらば面熱し可

●熊病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せざる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

▲宮殿下招待會

十一日加

陸軍大臣は紫本宮殿下の招待會を開き總理大臣以下多數參列せらる

●看守の女房

▲井戸端會議の事實談

近の造作、遠く佛蘭西敎會の鐘にて幕が明くと、其處には淫賣婦お號れ鍋れ龜など云ふ連中が會議の体「ちよいと、それは爾うとあの七兵衛さん達は何處へ引越したんだろふね」「七兵衛さんて誰だよ」「例の夫れ

監獄の……」「ア、解つた、**田川**さんの事かへ」「爾うだよ、何でも此の井戸端附近だつてことを聞いたがね。」「其前さん夫を聞いて奈何するの。」「どうて事もないけれど、一寸思ひ出したからさ。」「まあた安くなるわね、道理で、妾、何だか此頃はれ前さんの素振が可怪いと思つてゐたのよ。」「ホ、ヽ、まあ、眞實か知ら、れ竹さんも隨分物好きだわねゝ。」「何を云ふのだね、馬鹿馬鹿しい、眞逆れ前さん達ちやあるまいし、燗さまながら、田川さんてあんな醜男に惚れなくても、このれ竹さんには、ちやんゝ汚れ際の知れない別嬢さね。」「汚れ際の知れないと云へば。」「あんまり色か黑くつてさ。」「ホ、ヽ、それで評判(か)。」「なあに色が黑いばかしだつたら遺産大評判になる譯はないんだけれどね、色が黑くて、顔がた越で、うれで以つてハイカラのわめかしやで、加之に御亭主の知らぬ內職をやらつてことで大評判なんだよ。」「なあ爾うかね、そして內職ッて男でも引込ひんだね。」「あゝ、それこそ妾達でも適はないやうな藝當をするんだつてさ……何でもそれに騙つてショタヽ絞り上られた奴が日本人に三名と朝鮮人に四五名はあるつて事だがね、男さへ見たら附き纏つて歩るいて逃がさないて云ふんだから、呆れるちやないかね。」「眞實にねゑ。」と一同感心の体、やがて分別顏の一人が「そして其のれかみさんの名前は何と云ふの。」「名前かね。」「あゝ。」「名前はれキヨとか何とか云ふのよ。」「鮮喜はすべて京城西小門通り共同井戸場附近の造作、遠く佛蘭西敎會の鐘にて幕が明くと、其處には淫賣婦お號れ鍋れ龜など云ふ連中が會議の体「ちよいと、それは爾うとあの七兵衛さん達は何處へ引越したんだろふね」「七兵衛さんて誰だよ」「例の夫れ

監獄の……」「ア、解つた、**田川**さんの事かへ」「爾うだよ、何でも此の井戸端附近だつてことを聞いたがね。」「れ前さん夫を聞いて奈何するの。」「どうて事もないけれど、一寸思ひ出したからさ。」「まあた安くなるわね、道理で、妾、何だか此頃はれ前さんの素振が可怪いと思つてゐたのよ。」「ホ、ヽ、まあ、眞實か知ら、れ竹さんも隨分物好きだわねゝ。」「何を云ふのだね、馬鹿馬鹿しい、眞逆れ前さん達ちやあるまいし、燗さまながら、田川さんてあんな醜男に惚れなくても、このれ竹さんには、ちやんゝ汚れ際の知れない別嬢さね。」「汚れ際の知れないと云へば。」「あんまり色か黑くつてさ。」「ホ、ヽ、それで評判(か)。」「なあに色が黑いばかしだつたら遺産大評判になる譯はないんだけれどね、色が黑くて、顔がた越で、うれで以つてハイカラのわめかしやで、加之に御亭主の知らぬ內職をやらつてことで大評判なんだよ。」「なあ爾うかね、そして內職ッて男でも引込ひんだね。」「あゝ、それこそ妾達でも適はないやうな藝當をするんだつてさ……何でもそれに騙つてショタヽ絞り上られた奴が日本人に三名と朝鮮人に四五名はあるつて事だがね、男さへ見たら附き纏つて歩るいて逃がさないて云ふんだから、呆れるちやないかね。」「眞實にねゑ。」と一同感心の体、やがて分別顏の一人が「そして其のれかみさんの名前は何と云ふの。」「名前かね。」「あゝ。」「名前はれキヨとか何とか云ふのよ。」「

●誘拐して處分に窮む

▲上海から仁川に突戻す

仁川本町一丁目花屋旅館に宿泊せる熊本縣天草郡生れの堀田義實(三十)及ひ妻かづと云ふ兩人の態度が怪しき節多きより仁川署刑事が取調べに着手したる所案の條女を誘拐し來れるものなること判明したれば一日檢事局に送りたるが其の道行を聞くに堀田義實とは異赤な偽りにて吉田康喜(三十)と云ふものにて九州方面を股に掛けて婦女誘拐を業とせる曲者なるが去る四月頃熊本に清正公の三百年祭のあり當時康喜は同市に出掛け樂まんとする田舍娘をものにせんとして野心を起し前此家で月給を幾何程貰ふかナニ一圓五十錢其處馬鹿な話があるものか支那芝罘に行けば下女でも一圓にはなる料理屋に入いれば月二十圓には化度なるとロから出任かせの大法螺を吹きたれば田舍者のたかつはツイ康喜の口車に乘せられ五月二十三日大有丸にて門司を出發し二十六日仁川に着し翌日共同丸にて芝罘に向ひ踏まて樂し合はせる愛國亭と云ふに至りたるが同亭は新がる誘拐の世話をなす爲め過日其筋より退去命令を受け何れにか去りたる後なりければ康喜も途方に暮れ何んとかしてれかづを上海方面にて賣り飛ばさんとしたるも同地官憲の取締嚴重なる爲め遂に其の目的を達せず康喜はれかづを連れて去る八日再び仁川に舞ひもどりたり前記花屋に夫婦の名前で投宿し花開洞邊に賣り飛ばさんとて奔走せる折柄取り押へられたるものなりと

●意氣地無し男

岡山縣備中國吉備郡大井村字大井草井勝之助(三十)は去る三十六年渡韓し本町二丁目二十一番戶へ居住し夜泣き温鈍屋を業とせるものなるが一昨年三月頃車夫須田某の媒介により女按摩諸富ツギ(三)を內縁の妻となし同人の所得に依り本人は炊事をなして一家の手助けを爲し恰も男妾の樣なる有樣なるが此の程郷里の父直藏より赤貧糊口に窮する故遂かに歸國するか或は送金するか相當說諭ありたる旨南部署へ願出しも本人は斯の始末にて女房の ツギは一文も融通し與れず大に閉口の体なりとはテモ意氣地の無い男かな

●清韓人の鬪爭

本町一丁目居住清國人衛生會人夫慶玄心(三)は一昨日午後四時二十分頃若草町二丁目韓人酒商李相玉方に至り金三十錢分の酒を買はんとしたるに言語不通の爲め互に爭を生じ清國人は數名一團をなし韓人は附近のもの數名相集りて互に腕力を救け合ひ石を投げ棒を振ひ大騒を極め居るを南部署の巡上巡査が目擊し双方を取鎭めたるが此時既に李相玉は前記

●誘拐して處分に窮む

▲上海から仁川に突戻す

仁川本町一丁目花屋旅館に宿泊せる熊本縣天草郡生れの堀田義實(三十)及ひ妻かづと云ふ兩人の態度が怪しき節多きより仁川署刑事が取調べに着手したる所案の條女を誘拐し來れるものなること判明したれば一日檢事局に送りたるが其の道行を聞くに堀田義實とは異赤な偽りにて吉田康喜(三十)と云ふものにて九州方面を股に掛けて婦女誘拐を業とせる曲者なるが去る四月頃熊本に清正公の三百年祭のあり當時康喜は同市に出掛け樂まんとする田舍娘をものにせんとして野心を起し前此家で月給を幾何程貰ふかナニ一圓五十錢其處馬鹿な話があるものか支那芝罘に行けば下女でも一圓にはなる料理屋に入いれば月二十圓には化度なるとロから出任かせの大法螺を吹きたれば田舍者のたかつはツイ康喜の口車に乘せられ五月二十三日大有丸にて門司を出發し二十六日仁川に着し翌日共同丸にて芝罘に向ひ踏まて樂し合はせる愛國亭と云ふに至りたるが同亭は新がる誘拐の世話をなす爲め過日其筋より退去命令を受け何れにか去りたる後なりければ康喜も途方に暮れ何んとかしてれかづを上海方面にて賣り飛ばさんとしたるも同地官憲の取締嚴重なる爲め遂に其の目的を達せず康喜はれかづを連れて去る八日再び仁川に舞ひもどりたり前記花屋に夫婦の名前で投宿し花開洞邊に賣り飛ばさんとて奔走せる折柄取り押へられたるものなりと

●意氣地無し男

岡山縣備中國吉備郡大井村字大井草井勝之助(三十)は去る三十六年渡韓し本町二丁目二十一番戶へ居住し夜泣き温鈍屋を業とせるものなるが一昨年三月頃車夫須田某の媒介により女按摩諸富ツギ(三)を內縁の妻となし同人の所得に依り本人は炊事をなして一家の手助けを爲し恰も男妾の樣なる有樣なるが此の程郷里の父直藏より赤貧糊口に窮する故遂かに歸國するか或は送金するか相當說諭ありたる旨南部署へ願出しも本人は斯の始末にて女房のツギは一文も融通し與れず大に閉口の体なりとはテモ意氣地の無い男かな

●清韓人の鬪爭

本町一丁目居住清國人衛生會人夫慶玄心(三)は一昨日午後四時二十分頃若草町二丁目韓人酒商李相玉方に至り金三十錢分の酒を買はんとしたるに言語不通の爲め互に爭を生じ清國人は數名一團をなし韓人は附近のもの數名相集りて互に腕力を救け合ひ石を投げ棒を振ひ大騒を極め居るを南部署の巡上巡査が目擊し双方を取鎭めたるが此時既に李相玉は前記

●共樂園の開業

本町二丁目本座跡に開業せしピヤホール共樂園は京城の地には珍らしく營業柄季節向きの設備として付庵屋の構造等見るからに飲客を魅し客をして自ら身心を爽快ならしむ若し夫れ薄暮杖を曳いて同園に到りマヅ一盞のビールに渴を醫し園內の風致に對せんか直ちに肌を襲ひ陶然として羽化登仙の思ひあるべしソレに第一價格の低廉なるが同園の特色にして冷ビール二十七錢洋食一皿十錢は思ひ切つた勉强の仕方なり

明治町壹丁目目貫の場所に老舗讓物あり

姓名在社

明治町三丁目光進社山野牛松方川內逸三郎(三十)は一昨日午後十一時五十分本町一丁目裏通り韓人町カルボ屋李鏡西方の軒燈に石を投じて破壞したる儘逃走したるを數名の韓人追跡中南大門通三丁目裏通りへ逃げ込みたるを根本巡査が認め直ちに南部署へ引致して翌朝造留置きて取眼玉の上放還。

●二刑事に賞與

南部署の長野、工藤兩刑事は曩に詐欺取財詐欺席六年の判決を受けたる石田米蔵外窃盜二名の罪狀を檢擧し逮捕したる功により昨日警視廳より賞與さる

●軒燈を打破る

明治町三丁目光進社山野牛松方川內逸三郎(三十)は一昨日午後十一時五十分本町一丁目裏通り韓人町カルボ屋李鏡西方の軒燈に石を投じて破壞したる儘逃走したるを數名の韓人追跡中南大門通三丁目裏通りへ逃げ込みたるを根本巡査が認め直ちに南部署へ引致して翌朝造留置きて取眼玉の上放還。

●東京大相撲勝負附

京東大相撲五日目勝負及び六日目重なる取組は左の如し

「五日目勝負」

勝	負
藤見嶽	神崎
梅ノ花	小柳
司天龍	高見山
鳳	黑瀨川
山泉	小常陸
駒ヶ嶽	鷲渡
中入	西海
八島山	尼ヶ崎
稻瀨川	立川
大湊	錦戸
玉椿	浪の音
梅ヶ谷	朝嵐
碇潟	西海

「六日目取組」

取	組
鬼龍山	錦戸
永見濱	明島
瀧の音	梅の花
山泉	小常陸
黑瀨川	神崎
司天龍	紫雲龍
立川	有川
大綠	小柳
鷲渡	高見山
兩國	尼ヶ崎
稻瀨川	朝嵐
伊勢濱	國見山
綠島	大湊
駒ヶ嶽	浪の音
有明	西海
常陸山	碇潟
梅ヶ谷	太刀山
玉椿	千年川

アサヒビール サッポロビール

自轉車大安賣

角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門橫

辛民文庫

小便も亦御斷り申候。

▲私は過日も一寸本欄を借りて當局者に注意を促した事のあるものですが京城市中目貫の場所を淸國總領事廳に尤大なる地區を占領せらるゝと云ふことは迷惑であるから他に適當な閑靜な地を下して換へ地したら宜しからうと思ひ以て奈何となすと云ふのが一番上等だと思ふ以て奈何となすだ(天狗)。▲私は甘七で判任官三等で居るが妻が欲しがり一つも世話を願ひたい(ケー、

捉出中僅無用のこと

▲世話致しますが一遍お目に掛つた上(小僧)▲小僧奴介迄引き受ける物好きな奴だ(係)▲統監府へ願ひします、一つ曾禰新統監の披露を兼ねて薩統監の送別會を催しなさつて其の餘興に東京大相撲を連れて來て其の保證の下に安く見られる樣に爲て下さらんか(角力狂)▲流力角力狂程ねつて甘いことを考へた拙者も贊成する(給仕)▲川田巡査の妻君が云々との記事を見たが川田巡査の妻君は決して其の

明治四十二年破第[illegible]號

公破

韓國京城本町五丁目債務者酒井政平

右ニ對スル破產事件ニ付債權者京城中署長遞坊丁萬石契統戶株式會社大韓天一銀行代表者遠山明治四十一年三月十一日貞島品吉ヨリ債務者酒井政平カ同日貞島吉ヨリ宛テ振出シタル明治四十一年四月六日午後四時債務者トス宜千圓ノ約束手形ノ裏書讓渡ヲ受ケタルニ依リ滿期日ヲ經過シタリ仍テ債務者ヲ破產者ト宣告アラムコトヲ求ムト申立タリ當理事廳ハ以上ノ事實ハ明確ナリト認ムルヲ以テ決定スルコト左ノ如シ

一債務者酒井政平ヲ破產者トス

一支拂停止ヲ明治四十一年四月六日午後四時トス

一破產管財人チ皆川黃濟、和田常市トス

一破產者酒井政平ノ所有ニ係ル總テノ動產ハ當理事廳執達吏事務取扱チシテ封印セシム

一破產者酒井政平ニ對シテ債務チ負フ者及ヒ破產財團ニ屬スル物チ占有スル者ハ破產者ニ債務ノ辨濟又ハ占有物ノ引渡チ爲スヘカラス

一破產者ノ總テノ債權屆出ノ期間ハ明治四十二年九月三十日マテトス

一債權調查會ハ明治四十二年十月十五日午前十一時

一債權者集會ハ明治四十二年十一月十五日午前十時

右宣告ハ商法第九百八十二條ニ依リ假ニ之ヲ執行ス

明治四十二年六月十二日

京城理事廳副理事官 春川泰助

特別廣告

天氣豫報

(自十二日午後六時至三日午後六時)

最高溫度 最低溫度 (華氏) 七八、四 三四、三

十二日

北東の風曇

廣告

物品購買入札

一、曆印刷用紙八百九十五運入札保證金各自見積金額ノ百分五以上入札者ハ二年以上引續キ現ニ其營業ニ從事セルモノニ限ル

右競爭入札希望ノ者ハ來ル六月十八日迄ニ本局經理人ニ就キ入札ニ關スル書類見本熟覽ノ上同月十九日午前十一時限リ入札スベシ即時開札スベシ此契約擔任者印刷局長金榮漢

隆熙三年六月十二日

龍山印刷局

梅毒りん病

梅毒皮膚生殖器專門治療●診察無料

神經衰弱

わさがぢ

中央醫院

東京淺草瓦町廿八淺草橋通瓦町停留場橫

遠地患者

は病狀を記し郵便切手六錢を送れば療養書を送る尙ほ藥劑部の專門家の新藥說明書を送る

解雇廣告

中谷驥一

右之者都合により解雇致し候に付自今弊店に關係無之候に付此段廣告候也

六月十二日 本町一丁目 篠崎商店

高等御披露

冷ビール付

會席

明治町三丁目(東拓會社下隣)

京城碁會

(大和湯前○万隣)

京城清遊

京城明治町一丁目

開會諸君 子陸續來臨を賜へ

市中之仙境

一力

米國の投資

米國は[illegible]に清國に向て投資せんことを希望し居れりと

(以上十二日發)

紳士の遊興振

▲岡喜七郎君

由來赤門出の人にして事務官らしき人は多きも政治家らしき人に至つては極めて少ない然るに君は同門出には稀に見る政治家風の人である、且て紐育へヲルドの通信員オール氏は統監府の各種興官中政治家らしき人は岡君一人のみだと云つたそうだが誠に適切な批評である、君は曩に地方の各縣に知事として在任中地方政黨の繰繰に依て大に政治的手腕の經驗を重ねたのである、君が曾て東京北の某縣に知事たりし頃或る共進會の開會式に臨み滯留數日式場入口に設けたるアーチは赤く色を變じた頃歸途に着いたそうである、而かも土地の人民は此の豪傑風の遣り口に膽を拔かれ大に感服したと云ふ事である、韓國に來任の當時は警務總長と云ふ八ケ間敷き役目を承はりしも爲め大分內地とは趣きを替へて居たが、併し遊び振に於て はドヤラ內地に居る時の俤を留めて居た其れが內部次官に轉じて以來總長時代よりは大分呑氣に見ゆると同時に樓上に現はるゝ事も數繁く酒も呑めば藝妓も揚げる而して其得意とせる藝當は端唄、都々逸、勸進帳等で時々義太夫も語る、併し君の唄は何れも慈式で聞くものをして義太夫やら都々逸やら長唄やら區別に苦しひる位だが取るべき處は歌に一種の覇氣を有する事である、君に對する藝妓、仲居の評を聞くに「岡さんは誰と一座しても敵客に滿足を與へる事に務める人であるから誠に感心な事だ……」是れも畢竟君が樓上の人となつても政治家たる心得を失はない勢であらふ、序に君は武骨なる風貌に係はらず時に大に藝妓から惚れ込まれるそうだが是れも所謂政治的手腕の然らしひる處か否か……

次は淺野長七君

●誘拐して處分に窮む

▲上海から仁川に突戻す

仁川本町一丁目花屋旅館に宿泊せる熊本縣天草郡生れの堀田義實(三十)及ひ妻かづと云ふ兩人の態度が怪しき節多きより仁川署刑事が取調べに着手したる所案の條女を誘拐し來れるものなること判明したれば一日檢事局に送りたるが其の道行を聞くに堀田義實とは異赤な偽りにて吉田康喜(三十)と云ふものにて九州方面を股に掛けて婦女誘拐を業とせる曲者なるが去る四月頃熊本に清正公の三百年祭のあり當時康喜は同市に出掛け樂まんとする田舍娘をものにせんとして野心を起し前此家で月給を幾何程貰ふかナニ一圓五十錢其處馬鹿な話があるものか支那芝罘に行けば下女でも一圓にはなる料理屋に入いれば月二十圓には化度なるとロから出任かせの大法螺を吹きたれば田舍者のたかつはツイ康喜の口車に乘せられ五月二十三日大有丸にて門司を出發し二十六日仁川に着し翌日共同丸にて芝罘に向ひ踏まて樂し合はせる愛國亭と云ふに至りたるが同亭は新がる誘拐の世話をなす爲め過日其筋より退去命令を受け何れにか去りたる後なりければ康喜も途方に暮れ何んとかしてれかづを上海方面にて賣り飛ばさんとしたるも同地官憲の取締嚴重なる爲め遂に其の目的を達せず康喜はれかづを連れて去る八日再び仁川に舞ひもどりたり前記花屋に夫婦の名前で投宿し花開洞邊に賣り飛ばさんとて奔走せる折柄取り押へられたるものなりと

●意氣地無し男

岡山縣備中國吉備郡大井村字大井草井勝之助(三十)は去る三十六年渡韓し本町二丁目二十一番戶へ居住し夜泣き温鈍屋を業とせるものなるが一昨年三月頃車夫須田某の媒介により女按摩諸富ツギ(三)を內縁の妻となし同人の所得に依り本人は炊事をなして一家の手助けを爲し恰も男妾の樣なる有樣なるが此の程郷里の父直藏より赤貧糊口に窮する故遂かに歸國するか或は送金するか相當說諭ありたる旨南部署へ願出しも本人は斯の始末にて女房のツギは一文も融通し與れず大に閉口の体なりとはテモ意氣地の無い男かな

●清韓人の鬪爭

本町一丁目居住清國人衛生會人夫慶玄心(三)は一昨日午後四時二十分頃若草町二丁目韓人酒商李相玉方に至り金三十錢分の酒を買はんとしたるに言語不通の爲め互に爭を生じ清國人は數名一團をなし韓人は附近のもの數名相集りて互に腕力を救け合ひ石を投げ棒を振ひ大騒を極め居るを南部署の巡上巡査が目擊し双方を取鎭めたるが此時既に李相玉は前記

●共樂園の開業

本町二丁目本座跡に開業せしピヤホール共樂園は京城の地には珍らしく營業柄季節向きの設備として付庵屋の構造等見るからに飲客を魅し客をして自ら身心を爽快ならしむ若し夫れ薄暮杖を曳いて同園に到りマヅ一盞のビールに渴を醫し園內の風致に對せんか直ちに肌を襲ひ陶然として羽化登仙の思ひあるべしソレに第一價格の低廉なるが同園の特色にして冷ビール二十七錢洋食一皿十錢は思ひ切つた勉强の仕方なり

明治町壹丁目目貫の場所に老舗讓物あり

姓名在社

明治町三丁目光進社山野牛松方川內逸三郎(三十)は一昨日午後十一時五十分本町一丁目裏通り韓人町カルボ屋李鏡西方の軒燈に石を投じて破壞したる儘逃走したるを數名の韓人追跡中南大門通三丁目裏通りへ逃げ込みたるを根本巡査が認め直ちに南部署へ引致して翌朝造留置きて取眼玉の上放還。

●二刑事に賞與

南部署の長野、工藤兩刑事は曩に詐欺取財詐欺席六年の判決を受けたる石田米蔵外窃盜二名の罪狀を檢擧し逮捕したる功により昨日警視廳より賞與さる

●軒燈を打破る

明治町三丁目光進社山野牛松方川內逸三郎(三十)は一昨日午後十一時五十分本町一丁目裏通り韓人町カルボ屋李鏡西方の軒燈に石を投じて破壞したる儘逃走したるを數名の韓人追跡中南大門通三丁目裏通りへ逃げ込みたるを根本巡査が認め直ちに南部署へ引致して翌朝造留置きて取眼玉の上放還。

●東京大相撲勝負附

京東大相撲五日目勝負及び六日目重なる取組は左の如し

「五日目勝負」

勝	負
藤見嶽	神崎
梅ノ花	小柳
司天龍	高見山
鳳	黑瀨川
山泉	小常陸
駒ヶ嶽	鷲渡
中入	西海
八島山	尼ヶ崎
稻瀨川	立川
大湊	錦戸
玉椿	浪の音
梅ヶ谷	朝嵐
碇潟	西海

「六日目取組」

取	組
鬼龍山	錦戸
永見濱	明島
瀧の音	梅の花
山泉	小常陸
黑瀨川	神崎
司天龍	紫雲龍
立川	有川
大綠	小柳
鷲渡	高見山
兩國	尼ヶ崎
稻瀨川	朝嵐
伊勢濱	國見山
綠島	大湊
駒ヶ嶽	浪の音
有明	西海
常陸山	碇潟
梅ヶ谷	太刀山
碇潟	西海

各種 洗濯石鹸 専門製用 造販賣途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、鐵工、鑛山、水道、工業用

京城旭町 (電話九七三番)

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●開校 私立盛鏡徒弟學校開始す希望者は至急申込あれ規則書入用の向は郵券二錢送付す 龍山本町三の六六 吉村又平治

●賣子募集 廿歳以上の男子六名入用 旭町一の六〇 旭町號賣所(二八〇)

被屋度 年廿五永年大坂にて商業に從事店飾りの心得あり給料不論確實保證人あり 龍山漢江通四 巴商行内

知人年廿六多年會社に從事せり中等教育あり且カード式簿記學卒業京龍間の會社又は商店に雇はれたし 度支部官舍内橋本

物件部

●電話聽受たし 本町民團役所前 佐々木

●砂金鑛讓物あり 本町民團役所前 佐々木

●賣家 京畿道利川郡利川に諸營業に適當の家屋あり地所共に金二百圓にて賣却す 京城三角町三 山内(二八一二)

廣告

神經腦病頭痛 金治療良藥 腦丸

島村平商會

醫學博士島村完生 有効明

いかなるはいたでも いまなるるはぐすり

第一小瓶七錢 中瓶十五錢 大瓶三十錢

全國各藥店 東京麻布區本村町 元祖 大阪道修町 本舗 丹平商會本店 丹平商會支店

解雇廣告

小原粂一

右之者今般都合有之解雇致候に付自今一切弊店に關係無之候間此段廣告候也

六月十日 南大門通 井上看板部

東洋總代理店

寶用 石鹸 アイボリー 帝國京城支店

電話 壹八〇四九番

移轉廣告

今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す

南大門外御成町紅葉館跡 (茂呂運送店前)

開通 戸田病院 電話九三八番

元祖 生毒 殺菌 消毒 京城大和町壱丁目 電話一三三

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ (紹介ヲ要セス)

辯護士 岡田榮 京城旭町一丁目六十七番戸 (電話三九八番)

●開業御披露●

會席御料理並仕出し

會席御一人前金五十錢

其他御客樣の御酒一本(但御酒)御好に應じ調品仕候

尚來る十五日より開店御披露として向三日間福引券を呈す

六月 岡乃家 北米倉町(富田質店隣) (電話架設中)

訂正増補 第六版特價即賣廣告

大本全一冊 (紙數二千七百五十頁) 定價金拾五圓

六月三十日限り ●特別割引金九圓

但東京市外は小包郵便料四十八錢 臺灣、浦潮、樺太七十錢を要す

本版は人員に於て四千三百余名を培補し殆ど全部新語系譜並に和漢洋年表を網羅したれば前版に比し一層本書の面目を新にせり、乞う此好機を逸せず速に御注文あらんことを、

御送金の上は直ちに發送致すべし候

明治四十二年六月 東京麻布區霞門町七番地 電話新橋 八十七番 振替東京二一二九番

大本全各辞書

寫眞養成所新設

志望者は六月三十日迄に申込アレ 郵券封入アレバ規則書進呈ス

龍山元町三丁目 電話麻武番

芦谷審美館

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 明治時計製造會社

韓國特約販賣店

掛置時計韓國代理販賣

時計自轉車卸部 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店

時計小賣部 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話架設中

眼科專門

京城本町一丁目參十四番戸 元藤井跡 (電話三十三番)

醫學得業士 前漢城病院眼科部長 江頭富雄

江頭眼科醫院

待合室

清潔の下宿

客室の清潔と調度の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賜を數御投宿の程御願申上候

京城元花屋跡一丁目十番戸 横小路

懇切の下宿 かめ屋

軸物表裝 金張屏風 顏面換一式 壁張天井張

古香堂 明治六年創業 京城本町一丁目

名製 現時安価 キリンビール

工場新築落成一付當分の間二割引

大勉強 改良即料理 金五十錢 御酒肴 一均 御酒肴 西小門通り 東京樓

營業科目

活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 ■■タイプ版 寫眞版 書籍印刷 製本裝釘

今般日韓印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ通リ新設仕候間ノ繼續愛顧ヲ願上候也

日韓印刷株式會社

本社 京城明治町三丁目 電話(三三番)

東京出張所 東京麻布區南鄕町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

開業御料理並仕出し

今般左記の處に於て料理店開業致し候に付大々的勉强仕り候間何卒御贔負の程偏に奉希上候

六月 旭町一丁目(小森材木店前) 大福樓

軍旅必携

MORITA'S HOTAN.

起死回生 寶丹

官許本家 東京麻布區南部町 眞宗醫學士 守田治兵衛

朗治十年 恭警視廳製軍用之命也

MORITA JIMBI. No. 17, Yokoyama-Bashi-Dori, Tokyo, JAPAN.

代理店

京城南大門通三丁目百九十四番 新井藥房本店

京城南大門外八丁目百六十八番 新井藥房第一分店

京城本町三丁目四十七番 新井藥房第二分店

電話 京城 六百六十三

内外科、眼科、花柳病科 (人院 隨意) 本町六丁目五十番戸 瀧澤醫院 (電話七二一番)

特約販賣 自製 大上商店 (電話一一五一番)

清味醬油 物産 製造元 京城本町五丁目

東京火災海上運送保險株式會社

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓

京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九

京城本町二の三 電話一〇六〇番

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

統監府御用 諸官衙人力車 荷物荷造及運搬

伊藤組

本店 京城本町三丁目(電話四一〇番)

出張所 同南大門羅搭四(電話七三二番)

氣候變化 牛乳

牛乳 純良 消毒

韓國畜産株式會社

西大門外(電話八八番)

統監府御用 宮内府御用

軸物表裝 金張屏風 顏面襖張式 壁張天井張

石川表具店

京城曙町(電話二八七番)

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣

建築業 柴田芝六

京城旭町三丁目 電話五六八番

日本郵船株式會社

瀧船出帆廣告

川蒲汽船 貨物及船客取扱店

郡回漕店 電話三九番